

お客様各位

2021年7月16日

株式会社アスコ

IoT 事業推進室

## 「PUSHLOG Viewer」の機能追加と ゲートウェイのファームウェアバージョンアップについて

PUSHLOG をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用いただいております PUSHLOG Viewer に下記の機能を追加します。

合わせて PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアをバージョンアップします。

### <PUSHLOG Viewer の追加機能>

- ・三菱電機(株)製 PLC との接続に RS-485 接続を追加

### <ゲートウェイファームウェアのバージョンアップ内容>

- ・エッジ通信タイムアウトエラー発生時の動作を改善

### <PUSHLOG Viewer の変更実施日時と注意事項>

2021年7月16日(金)※実施済み

データ収集は、変更の前後も継続して実行されます。変更にあたり、ユーザーで必要な作業はありません。変更時に一時的に PUSHLOG Viewer にアクセスできない状態が発生する可能性があります。アクセスできない場合は、しばらく時間を置いてから、再度 PUSHLOG Viewer にアクセスしていただきますよう、お願いいたします。

### <お問い合わせ先>

株式会社アスコ IoT 事業推進室 営業グループ

メールアドレス:inf.uip@usco.jp

電話:06-6210-2226

## PUSHLOG Viewer 追加機能の内容

### 三菱電機(株)製 PLC との接続に RS-485 接続を追加

RS-485 タイプのゲートウェイ(型式:GW-404)を MELSEC-Q シリーズ、MELSEC iQ-F シリーズに接続してデータ収集することができます。

#### 三菱電機(株)製 PLC RS-485 接続対応機種一覧

シリーズ名	CPU	リンクユニット
MELSEC-Q	Q□□CPU Q00JCPU Q00UJCPU Q□□UCPU※ <sup>1</sup> Q□□UDCPU※ <sup>2</sup> Q□□UDHCPU※ <sup>2</sup> Q□□HCPU Q□□UDECPU※ <sup>3</sup> Q□□UDEHCPU※ <sup>3</sup> Q□□UDVCPU※ <sup>3</sup>	QJ71C24N QJ71C24N-R4※ <sup>4</sup>
MELSEC iQ-F	FX5U	CPU ユニット内蔵 RS-485 ポート
		FX5-485-BD FX5-485ADP
	FX5UC	CPU ユニット内蔵 RS-485 ポート
		FX5-485ADP

※<sup>1</sup> Q02UCPU では、シリアルNo.の上 5 桁が 10102 以降の CPU を使用してください。

※<sup>2</sup> シリアルNo.の上 5 桁が 13062 以降の CPU を使用してください。

※<sup>3</sup> Q□□UDECPU/Q□□UDEHCPU/Q□□UDVCPU では、シリアル No. の上 5 桁が  
"10042" 未満の QJ71C24N(-R4)は使用できません。

※<sup>4</sup> CH2 のみ接続可能。CH1 には接続できません。

## RS-485 接続時のシステム構成

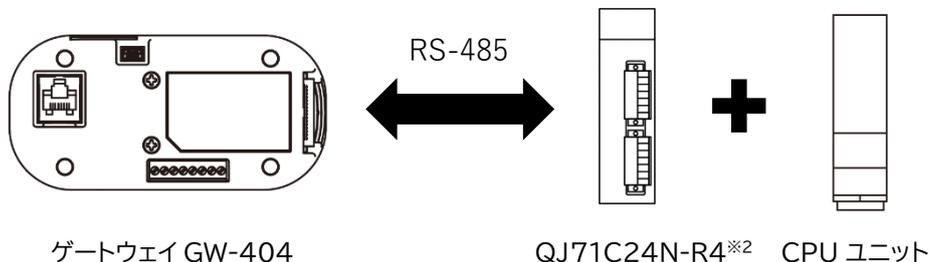
### MELSEC-Q シリーズ

#### ●シリアルコミュニケーションユニット QJ71C24N



※1 CH2(RS-485)のみ接続可能。CH1(RS-232C)には接続できません。

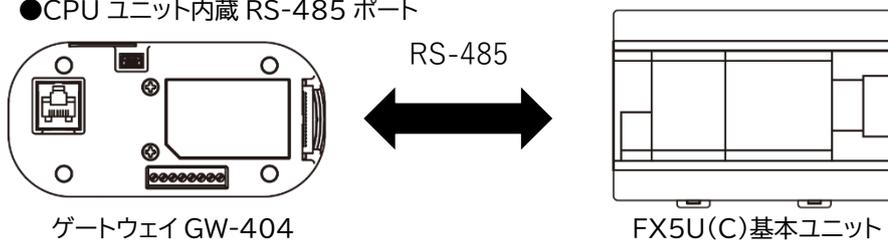
#### ●シリアルコミュニケーションユニット QJ71C24N-R4



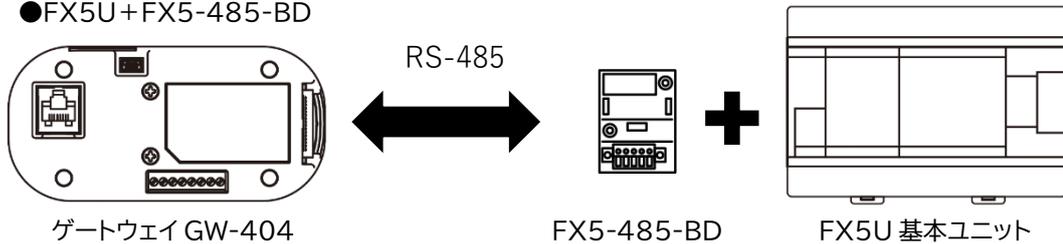
※2 CH2のみ接続可能。CH1には接続できません。

### MELSEC iQ-F シリーズ

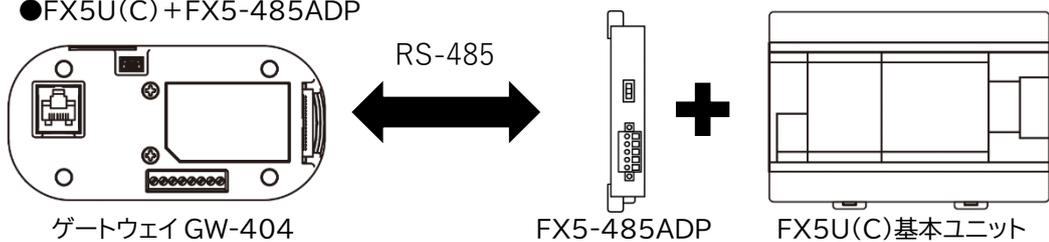
#### ●CPUユニット内蔵 RS-485 ポート



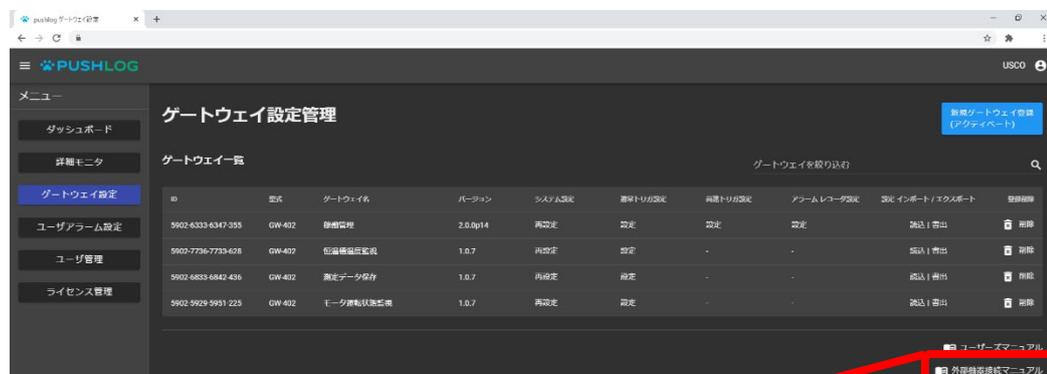
#### ●FX5U+FX5-485-BD



#### ●FX5U(C)+FX5-485ADP

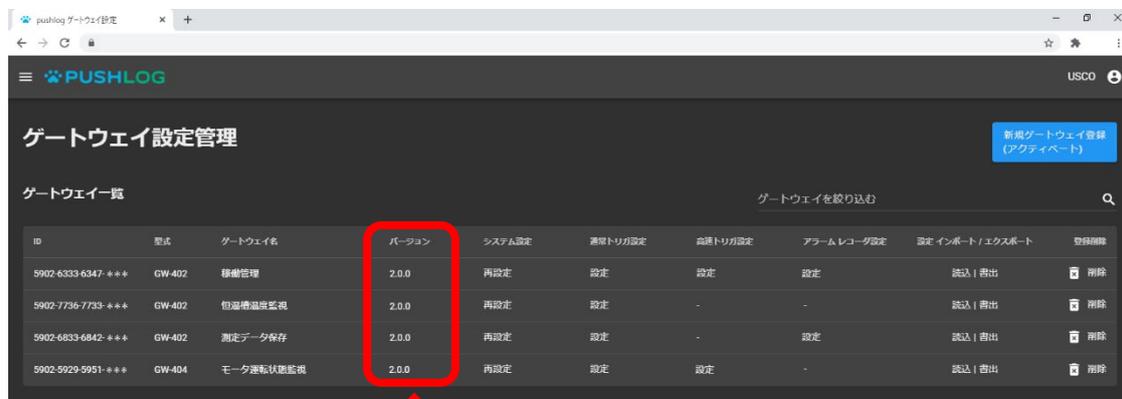


結線方法やリンクユニットの設定方法については、外部機器接続マニュアルを参照してください。  
最新の外部機器接続マニュアルは PUSHLOG Viewer のゲートウェイ設定画面で表示することができます。



## PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアアップデート方法

ファームウェアバージョンでアップデート方法が異なります。  
ご使用中のゲートウェイのファームウェアバージョンを確認してください。



ID	型式	ゲートウェイ名	バージョン	システム設定	通報トリガ設定	高周トリガ設定	アラームレコード設定	設定インポート/エクスポート	登録/削除
5902-6333-6347-***	GW-402	稼働管理	2.0.0	再設定	設定	設定	設定	読み 書き	削除
5902-7736-7733-***	GW-402	包遅延温度監視	2.0.0	再設定	設定	-	-	読み 書き	削除
5902-6833-6842-***	GW-402	測定データ保存	2.0.0	再設定	設定	-	設定	読み 書き	削除
5902-5929-5951-***	GW-404	モータ運転状態監視	2.0.0	再設定	設定	設定	-	読み 書き	削除

「ゲートウェイ設定管理」画面でバージョンを確認してください。

### バージョン「2.2.\*」、「2.3.\*」のとき

- ・PUSHLOG Viewer によるファームウェアアップデート [📄6 ページ](#)
  - ・アップデートツールによるファームウェアアップデート [📄9 ページ](#)
- どちらの方法でもアップデートできます。

### バージョン「2.1.\*」以下のとき

- ・アップデートツールによるファームウェアアップデート [📄9 ページ](#)
- のみ可能です。

ゲートウェイのファームウェアを今回リリースする Ver2.3.0 以降のバージョンにバージョンアップすることで、次回以降のファームウェアバージョンアップ時に、PUSHLOG Viewer(クラウド)からアップデートできるようになります。

今回リリースの Ver2.4.0 へのバージョンアップを実施していただきますよう、お願いいたします。

#### <今回バージョンアップ内容>

- ・エッジ通信タイムアウトエラー発生時の動作を改善

## ファームウェアアップデートの注意事項

・Ver1.0.\*から Ver2.\*.\*にバージョンアップするときは、ファームウェアのアップデート後、クラウドからゲートウェイにゲートウェイ設定を再送信します。

**ゲートウェイ設定の再送信中に電源を OFF すると、次回起動時、再び設定再送信が実行されるため、データ収集しない状態になります。**

**ファームウェアアップデートが完了するとデータ収集を再開しますので、電源を OFF せずお待ちください。**

なお、ゲートウェイ設定再送信中は、一時的にステータス LED が赤点灯しますが異常ではありません。

・ファームウェアのアップデート中はデータ収集が実行されませんのでご注意ください。

アップデート完了後はアップデート前に収集したデータに続けてデータ収集が実行されます。

## PUSHLOG Viewer によるファームウェアアップデート

- ① メニューから[ゲートウェイ設定]を選択して[ゲートウェイ設定管理]画面を表示し、右上の[ファームウェアアップデート]を選択します。

ファームウェアアップデートの対象になるゲートウェイが無い(バージョン 2.2.0 以上のゲートウェイが無い)ときは、選択できません。

ID	型式	ゲートウェイ名	バージョン	システム設定	警報トリガ設定	監視トリガ設定	アラームレコーダ設定	設定インポート/エクスポート	管理権限
5902-6333-6347-***	GW-402	警備管理	2.2.0	再設定	設定	設定	設定	読み込み   書き出し	詳細
5902-7736-7733-***	GW-402	包送機油圧監視	2.2.0	再設定	設定	-	-	読み込み   書き出し	詳細
5902-6833-6842-***	GW-402	高度データ保存	2.2.0	再設定	設定	-	設定	読み込み   書き出し	詳細
5902-5929-5951-***	GW-404	モータ駆動状態監視	2.2.0	再設定	設定	設定	-	読み込み   書き出し	詳細

- ② [バージョン確認]画面を表示します。アップデートするファームウェアバージョンを表示します。

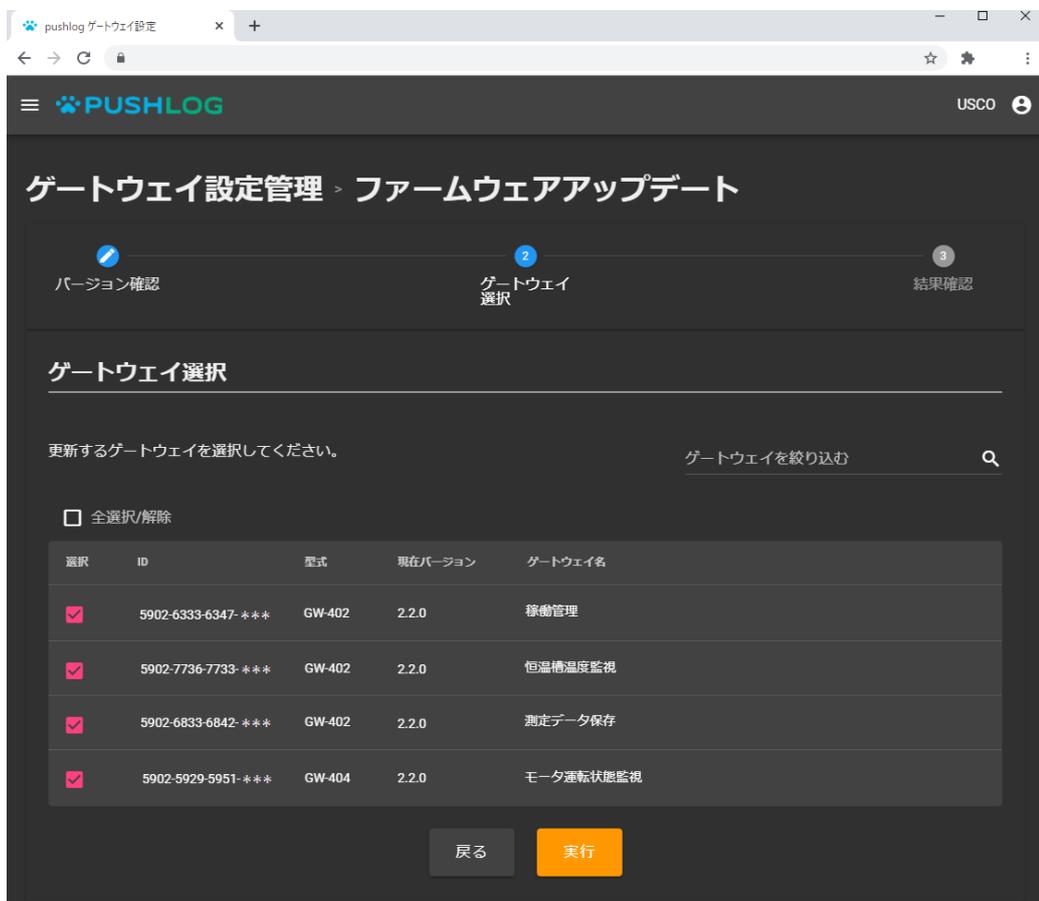
バージョン確認

以下のバージョンに更新します。

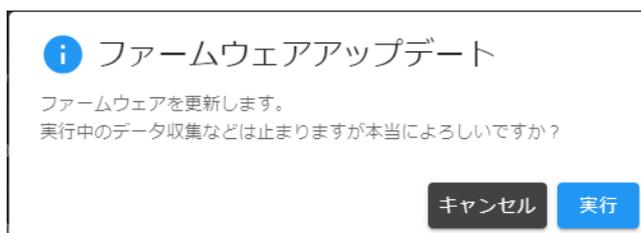
2.4.0 (pushlog\_fw\_2.4.0.bin)

戻る 次へ

- ③ [ゲートウェイ選択]画面を表示します。ファームウェアアップデートを実行するゲートウェイを  
チェックボックスで選択してから、[実行]を選択します。  
1回の操作でアップデートできるゲートウェイは最大100台です。



- ④ 下記の確認画面を表示します。ファームウェアアップデートを実行するときは、[実行]を選択します。



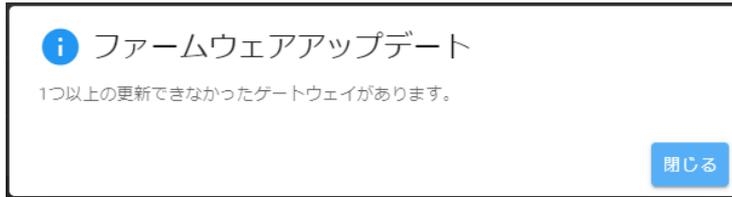
- ⑤ ファームウェアアップデートを開始すると下記の画面を表示します。  
アップデートが完了するまでゲートウェイの電源を OFF しないでください。



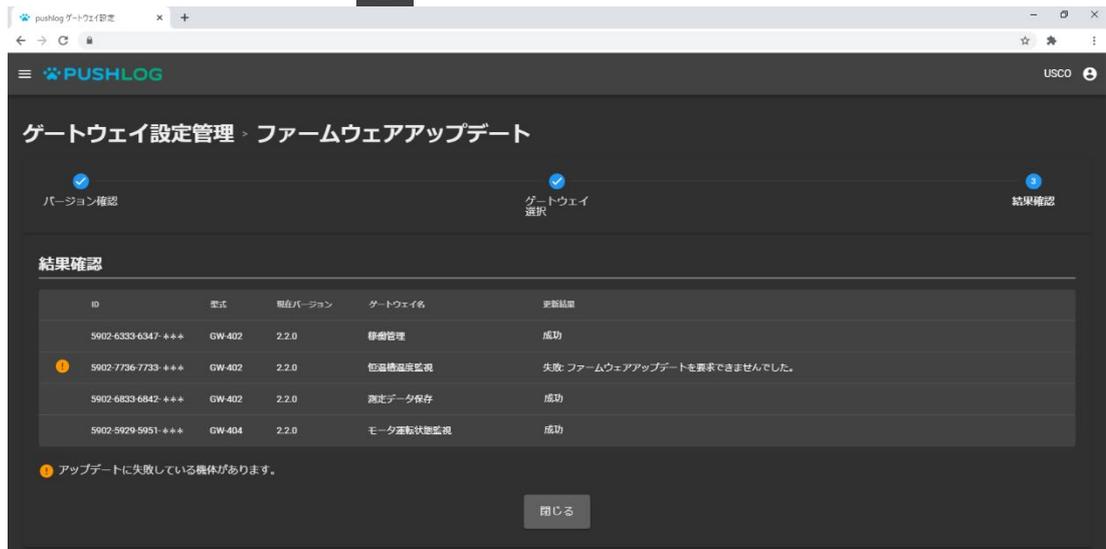
- ⑥ 選択した全てのゲートウェイのファームウェアアップデートが完了すると下記の画面を表示します。



- ⑦ いずれかのゲートウェイでファームウェアアップデートが完了しなかったときは、下記の画面を表示します。



- ⑧ [結果確認]画面を表示します。ファームウェアアップデートを実行したゲートウェイごとに更新結果(成功または失敗)を表示します。ファームウェアアップデートが完了しなかったゲートウェイはIDの左側に  を表示します。



ファームウェアアップデートに失敗する場合は、ゲートウェイを見通しのよい場所や窓際など電波環境がよい場所に設置してから再度実行してください。

## アップデートツールによるファームウェアアップデート

<アップデートツールおよびアップデートファイルのダウンロード手順>

- ① 下記 URL から zip ファイルをダウンロードしてください。

<https://www.uip.usco.jp/ftp/20210716.zip>

- ② ファイルを PC のドライブに保存してください。
- ③ ダウンロードしたファイル(20210716.zip)を解凍(展開)してください。

下記の 2 つのファイルが解凍先フォルダに作成されます。

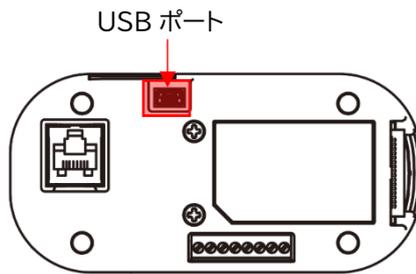
PushLogUpdateToolInst\_x64\_0.9.2.msi → アップデートツールのインストーラです。

pushlog\_fw\_2.4.0.bin → ファームウェアのアップデート用ファイルです。

ファイルのダウンロードができないお客様は、当社までお問い合わせください。

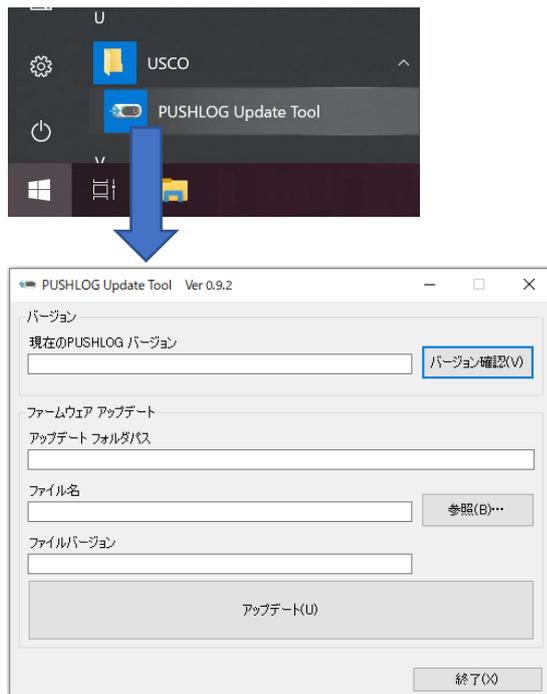
<アップデート手順>

- ①ダウンロードしたインストーラ(PushLogUpdateToolInst\_x64.msi)を実行してください。  
アップデートツールがインストールされます(対応 OS は Windows10 です)。
- ②USB ケーブル(miniB)で PC とゲートウェイの USB ポート(下図)を接続します。

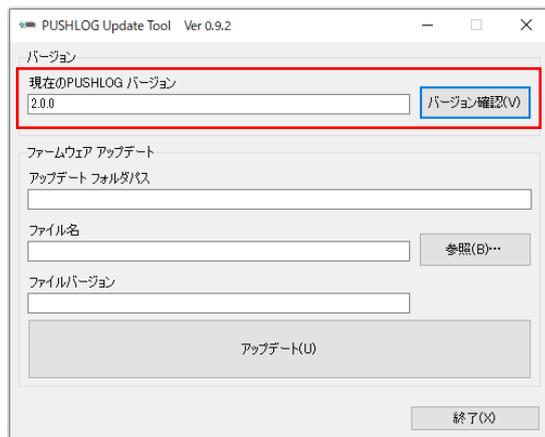


リヤモジュール背面

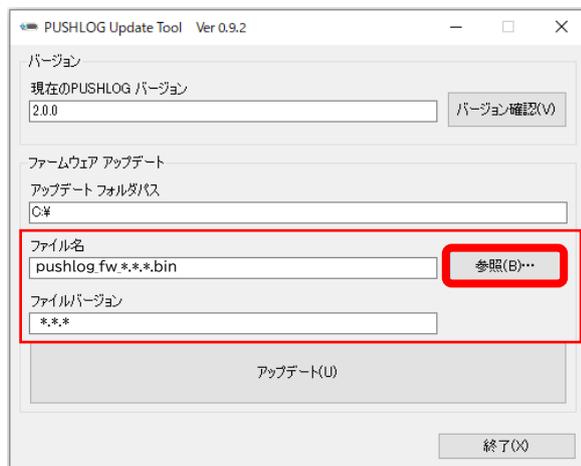
- ③アップデートツールを起動します。



④[バージョン確認(V)]をクリックすると、現在のファームウェアバージョンを確認できます。



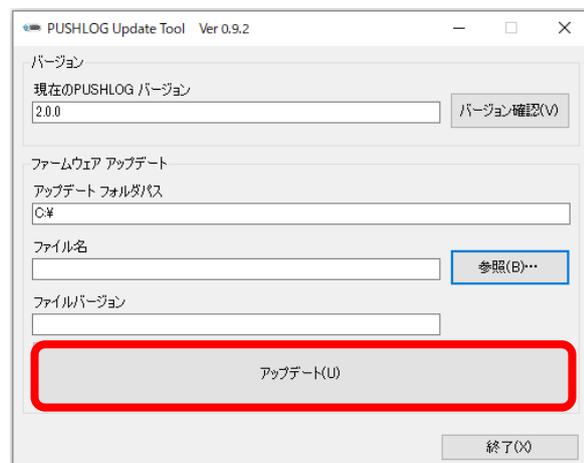
⑤[参照(B)]をクリックした後、[開く]画面で PC に保存したアップデートファイルを開きます。



[ファイルバージョン]に開いたファームウェアのファイルバージョンを表示します。

アップデートできるファームウェアのファイルバージョンは 2.2.0 以降です。未対応のファイルを開いたときは、[ファイルバージョン]は空欄の表示になります。

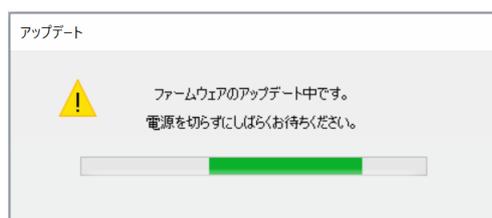
⑥ゲートウェイの電源が ON している状態で[アップデート(U)]をクリックします。



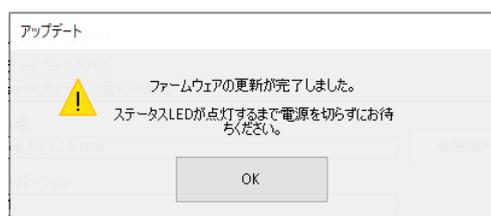
⑦下記の画面を表示したら[はい(Y)]をクリックします。



⑧下記の画面を表示している間(ファームウェアのアップデート中)はゲートウェイの電源を OFF しないでください。



⑨ファームウェアのアップデートが完了すると下記の画面を表示します。  
[OK]をクリックして、下記の画面を閉じてください。



<本件に関する問い合わせ先>

株式会社アスコ IoT 事業推進室 営業グループ

メールアドレス:[inf.uip@usco.jp](mailto:inf.uip@usco.jp)

電話:06-6210-2226

以上